

## 第2回 悲嘆講座

大切な人を亡くした深い悲しみに、どのように寄り添っていけば良いのでしょうか？

震災から2年が経過し、やっと言葉にできることがあるかもしれません。

この講座は「悲嘆（グリーフ）」に寄り添う上で必要な事柄を、講義と演習を通して学ぶことができる悲嘆のケアに熟知した専門家による2日間の講座です。

日時： 平成25年8月30日（金）・31日（土）の2日間

1日目 受付9時半～ 講義開始10時～ 終了17時半

2日目 受付9時～ 講義開始9時半～ 終了16時半

\*詳しい日程と内容は裏面にあります。

対象： 保健・医療・教育・心理・福祉等の専門職の方

遺族支援・被災者支援を継続的に行っている団体、行政の方など 70名

受講料： 2日間で3000円(資料代含む)

場所： 仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

- ・JR仙台駅から徒歩10分 広瀬通り
- ・地下鉄広瀬通駅 西5番出口すぐ
- ・市営バス「商工会議所前」徒歩3分

地図 <http://www.sapo-sen.jp/map>



お申し込み： メールまたはFAXで、仙台グリーフケア研究会事務局にお申し込み下さい。  
申し込み時に、氏名、メールアドレス、勤務先、ご職業、懇親会参加の有無をお知らせ下さい。（FAXの場合は、URLから申込み用紙をダウンロードしてお使い下さい。）  
お申し込み受付期間は平成25年7月1日～8月5日で、先着順となります。  
事務局へのお申し込み後、受講料3000円をお振込み頂きます。  
振り込み先は、受講申し込み後にメールでお知らせします。

申し込み先： NPO法人 仙台グリーフケア研究会事務局

メール [grieffoffice@gmail.com](mailto:grieffoffice@gmail.com) FAX 022-214-7706

URL <http://www.sendai-griefcare.org/>

\*できるだけ多くの方にご参加頂くため、申し込み後に欠席される場合は、必ずご連絡下さい。



## 日程

8月30日 9時30分受付開始、10時講義開始

午前の部	<オープニング> 10:00~10:45
	<講義> 中長期における災害後の遺族支援 10:45~12:00 龍谷大学短期大学部 黒川雅代子 大切な人や故郷の町を失った悲しみは、年月がたっても消えることはありません。震災後約2年5ヶ月が経過した現在の遺族の現状と課題、支援方法について、一緒に考える機会とします。
午後の部	<講義> 喪失を抱える家族の中の子どもたち 13:00~14:00 つくば国際大学 高橋聡美 震災から2年が経過する中で子どもは成長し、震災直後とはまた異なる課題を抱えています。子ども達を取り巻く環境の現状と課題、喪失体験をした子どもの支援の実際、保護者のメンタル・ソーシャルサポートの実際についてお話しします。
	<遺族からのお話> 14:00~14:30
	<演習> 自分の経験を振り返るワーク 15:00~17:30 京都産業大学 米虫圭子 他 自分の経験を振り返ることが、悲嘆の中にいる人の支援に役立つといわれています。ここでは、そのようなワーク（演習）やグループディスカッションを行います。

8月31日 9時受付開始 9時30分講義開始

午前の部	<講義> 災害によるトラウマとそのケア：PTSDと複雑性悲嘆 9:30~11:00 国立精神・神経医療研究センター 中島聡美 災害による恐怖や大切な人を失った体験は、強いトラウマとなって人々の心に長期的な影響を与えることがあります。ここでは、PTSD（外傷後ストレス障害）や複雑性悲嘆の反応の特徴と、一般的・専門的ケアについて学びます。
	<講義> あいまいな喪失をかかえた家族への支援 11:15~12:15 ルーテル学院大学 TELLカウンセリング 石井千賀子 震災によって「あいまいな喪失」をかかえた家族への支援を、家族療法の立場から事例を通して考えてみます。
午後の部	<講義と演習> セルフケア・リフレッシュ～共感性疲労への対応～ 13:15~15:45 甲南女子大学 瀬藤乃理子 深い悲しみの中にいる人を支援する時、支援者の心身のケアがとても重要です。支援で生じる共感性疲労に対応するためのセルフケアの考え方と方法について学びます。
	<クロージング> 15:45~16:30

\*8月31日終了後、懇親会を予定しています（希望者のみ。3000円程度）

主催：JDGS（Japan Disaster Grief Support）プロジェクト

NPO法人 仙台グリーフケア研究会

後援：仙台市（仙台市精神保健福祉総合センター）

みやぎ心のケアセンター 宮城県医師会 仙台市医師会

仙台市立病院 NPO法人 子どもグリーフサポートステーション



\*JDGS（Japan Disaster Grief Support）プロジェクトは、東日本大震災後、震災のご遺族を支援するために立ち上がったプロジェクトです。詳しくはJDGSのHP「震災で大切な人を亡くされた方を支援するためのウェブサイト」 <http://jdgs.jp/> をご覧ください。